

## 【講義と演習⑧】

### 面接 1 逐語録

- 1 生活指導教諭（以下、教諭）：宇都宮さん、今日は来てもらってありがとうございます。  
こちらがお電話でお話をした、山田さんです。
- 2 相談支援員（以下、支援員）：どうもこんにちは。自立相談支援センターの宇都宮です。
- 3 相談者：よろしく申し上げます。山田です。今日はわざわざ来てもらってすみません。
- 4 支援員：いえいえ、とんでもない。どうぞよろしくお願ひいたします。
- 5 教諭：それで早速なんですけれども、山田さんの娘さんが不登校の生徒でして。最近、まあ学校を欠席したり、出てきても授業中居眠りをしたり、なんてあるものですから、お話を伺ったら、ご家庭がいろいろ大変ということで、一番はお父さんが働いていないということなんですけれども。それを何とかしなきゃということですね。
- 6 相談者：そうなんですよね。夫が働いてなくて、家計がきびしくてですね。
- 7 支援員：なるほど、そうですか。なかなか大変ですね。私たちのほうで力になりたいと思いますので、相談していきましょう。
- 8 相談者：ありがとうございます。
- 9 教諭：それじゃそういうことで、あとはお願ひします。
- 10 支援員：わかりました。山田さん、よろしくお願ひします。

（教諭退室）

- 11 支援員：そうしたら改めて、よろしくお願ひします。
- 12 相談者：お願ひします。
- 13 支援員：お父さんが働いていないということなんですけれども、もうちょっと詳しく聞かせてもらえますか。
- 14 相談者：はい、今夫が働いていなくてですね、私がパートで働いているんですね。で、まあそれで忙しくて、家にあまりいないもんですから、そのせいか娘がちょっと荒れ気味というかですね、そういうふうになっていて。学校にご迷惑をちょっとおかけしてしまってですね、それでなんていうか、その一、呼び出されて、

しまってますね。何とかしたいなどは思っているんですけど、私も忙しくて、なかなか娘と顔を合わせる時間がなくてというような、そういう感じですね。はい。

- 15 支援員：なるほど、そうですか。大変ですね。えーと、お父さんはいつから働いていないんですか。
- 16 相談者：1年ぐらい前からですね。それまで夫は飲食店をやってたんですけど、それがつぶれてしまっ。
- 17 支援員：なるほど、飲食店ってどんな。
- 18 相談者：ラーメン屋です。
- 19 支援員：つぶれたっていうのは経営がきびしくなって？
- 20 相談者：そうですねえ。2年ぐらい前に、うちの斜め前のレストランが廃業しまして。で、まあそのあと、その空いたところにチェーンのラーメン屋さんが入ってきちゃったんですね。で、それでそちらは安いもんですから、けっこうお客さんをとられてしまったというか。
- 21 支援員：なるほど、それで経営が悪化したということなんですね。
- 22 相談者：うん、そうですねえ。
- 23 支援員：それからお父さんは再就職の活動をしたりとか、そういったご様子はどうですか？
- 24 相談者：うーん、ま、つぶれて、その店をたたんですぐのころは、ハローワークにいったみたいです。ただ、何度かいったようなんですけど、そのままいなくなっちゃってしまっ。
- 25 支援員：就職活動のこと、何か話していましたか。
- 26 相談者：うーん、何も。ただ帰ってくると、まあ落ち込んでいるようには思いましたね。主人はずっとラーメン屋できて、他の仕事って言われても難しいと思うんですよ。
- 27 支援員：ずーっとラーメン屋さんなんですか。
- 28 相談者：はい。あの、もともとは夫の両親がやってたお店で、それを手伝ってたんですね。両親が高齢ということで、それで夫のほうがあの店を継いだんですけども。
- 29 支援員：なるほど。他にアルバイトぐらい、お仕事をしたりとかというのはないですか。

- 30 相談者：うーん、友人の店をたまに手伝いにいってるみたいですね。
- 31 支援員：そちらに雇ってもらおうという話にはならないんですか。
- 32 相談者：うーん、聞いたことないですねえー。ただ、同じ商店街のお店なんですけど、個人店は今どこもきびしいんで。一人雇う余裕があるかなあー。難しいんじゃないでしょうかね。
- 33 支援員：なるほど、そうですか。でもお母さんも仕事だけじゃなくて、家事や育児もあって大変だし、お父さんに働いてもらわないと困りますよね。
- 34 相談者：そうなんですよねえ。ま、どうしたもんか、私もちょっと辛くて。
- 35 支援員：私たちもぜひ、お父さんにお会いして、仕事のことを聞いてみたり説得してみますよ。これまでラーメン屋をやっていた実績を活かして働けるところを探してみたり、場合によっては違う分野に職業訓練を受けて転職する方法もありますから、何とか考えていきましょう。
- 36 相談者：ありがとうございます。娘もまだまだお金がかかりますので、心配ですねえ。
- 37 支援員：そうですよね。お父さんが働くようになれば家計も楽になりますよね。あの、ところでお父さんはラーメン屋をやっていたころ、どんな様子だったんですか。
- 38 相談者：うーん、常連さんにかわいがられてましたね。あの一、両親の代からのお客さんも多くて、子どものころから夫のことを知っててくれる人が、まあ多かったんで。正直ちょっと頼りない二代目でしたけれども、まあ応援してやろうという年配の方が多くいらしてましたねえ。うーん、なんて言うか、成績はあんまり良くないタイプですけど、人懐っこいところがあって、明るい性格なので、ずっとかわいがられてましたねえ。
- 39 支援員：なるほど、そうですか。お父さんの長所ですね。
- 40 相談者：そうですねえ。こうなる前は娘も明るくて、家の中が賑やかだったんですよね。うーん、なんでこうなっちゃったかなあーって。なんかもう、夫はあまり家にいないし、家族とも顔を合わせようとしなくて、日中はパチンコばかり、今いってるんですよね。私も家にいないんで、夫が何考えてるのかわからないんですよね。
- 41 支援員：なるほど、そうでしたか。それじゃお父さんとは最近はあまりお話とかはされてないんですか。
- 42 相談者：うーん、そうですねえ。

43 支援員：仕事のこととか、就職活動のこともまったく。

44 相談者：うーん、私が帰るといらないか、まあ、寝てるかのどっちなんで。聞いてないですね、何も。

（ 終 ）